## 奥秩父竜喰谷

### 日程：２００９年6月２８日

メンバー：奥平（L）、神戸、釣、斎藤、池田（記）

地形図：雁坂峠、柳沢峠

コースタイム：7:16 林道-12:05 大常木林道(沢の終点)-林道で三ノ瀬へ-13:27 駐車スペース

前日に広沢寺で斎藤さんにロープワークのトレーニングをしてもらった。そしてそのままさがみ山友会で初めての沢登りへ。広沢寺から待ち合わせ場所の奥多摩のめこい湯へ移動。キャンプ禁止という張り紙があるので近所の人達の迷惑にならないようにおとなしく宴会し翌日に備えてテントで眠る。

沢当日。三ノ瀬へ向かう道が通行止めのようで遠回りして入る。二ノ瀬の先もゲートで閉ざされており少し手前に駐車。沢の降り口まで歩く。

今まで沢は丹沢がほとんどでそれも数えるほど。丹沢に比べて竜喰谷は水量が多いなと感じた。幅広で水がざあっと落ちている滝がいくつもあり、滝のそばを登るときは水しぶきを浴びた。また、なめ滝もあり苔のついた茶色の岩の上を水が流れて滑りやすそうだった。ところどころに細かく白い砂の川底が現れるのが印象的だった。

滝はほとんど登ったが難しいところもあった。一番難しいところは自分はまき道で。自分はリードできそうにもないところをすんなり釣さんがクリアしていたのはすごいなあと思った。あと歩くのが速いのにも驚いた。奥平さんと斎藤さんが先行してくれて滝をどう攻略しようかと話しているところへ後続のメンバーが追いつく、それを繰り返して進むといった風だった。ほとんど使わなかったが巻き道も悪くはなさそうだった。読図的な難しさはなく本流をきっちりさかのぼっていけば今回終点とした大常木林道まではたやすいと思う。

沢登りは沢にかかる橋に出会ってあっけなく終わり、そこからは三ノ瀬まで林道でほとんど下り。途中からは車も通れそうな幅のしっかりした林道で「なぜこんな山の中にこんな立派な道が？」と思うほど。でもとにかく楽な下りはありがたい。降りてきた三ノ瀬の集落ではこのあたりも昔は賑わっていたのだろうかなんてこと話しながら車を止めた場所まで歩いた。

皆さんのお気遣いのおかげでさがみ山友会での始めての沢登り、楽しめました。ありがとうございました。